

釧路市立清明小学校 令和6年度 学校経営グランドデザイン

～ 子どもを主語にした 清く明るい学校 ～

教育目標

育みたい資質・能力

青陵中地区
目指す子ども像

よく考えて
努力する子

【考えを紡ぐ力】①自分の考えをもった上での対話的な学習を通し②学習の見通しを立てたり振り返りをしながら自己調整力を高め③ICT等を活用するなどして主体的に努力する力

●地域のなかで学び、
つながり、主体的に協
働できる子ども

思いやりがあ
って優しい子

【絆を紡ぐ力】①特別活動や道徳、日常の学級指導等を通し②人に感謝の気持ちを伝えること
や思いやりのある言動をとることができ③多様な人と協働的に活動することができる力

9年間で育てる具体的な姿

勇気を持って
やりぬく子

【未来を紡ぐ力】①自分の目標、めあてを明確に立てて努力や挑戦することを通し②失敗に
もくじけずに最後までやり抜き③自分で工夫したり協働したりしながら課題を解決する力

○自ら学び、自ら考
え、自分の目標に向
かって努力する生徒

明るく
じょうぶな子

【命を紡ぐ力】①健康教育や体育、挨拶運動を通し②メディアとの付き合い方や基本的な生
活習慣を身に付けて③進んで運動に親しみ、心身共に健康で安全な生活ができる力

○他を思いやり、感
動できる豊かな感性
をもつ生徒

○健康増進と体力づ
くりを努める生徒

経営の重点

- 1 学力向上（個別最適な学びと協働的な学び・評価）と授業力向上（ICT活用を含む）
- 2 特別支援教育の充実（通常学級と特別支援学級の連携）
- 3 地域連携（近隣校・幼保）
- 4 地域の教育素材を活用した教育活動の展開
- 5 働き方改革の推進

行動指標

「凡事徹底」…時を守り、場を清め、礼を正す。当たり前を徹底し、師弟同行を基本とする。
「成長実感」…小さな成長を実感させ課題を乗り越え自信を育てる。学びを自分ごととする。
「感動創造」…感動の種を見つけ、子どもの心に火をつける。遊び、挑戦、成功体験を大切にする。

目標達成のための方策

重点1 子どもの「考えを紡ぐ力」が育つ方策

- 「自己選択、自己決定」のある授業の充実
- 「学びを広げる対話」のある授業
- 「ICT・タブレット端末活用」の共通実践強化
- 「単元の見通しと振り返り」による自己調整力強化
- 「授業と家庭学習との学びの連続性」（必要感のある課題）
- 「地域人材・素材の活用と横断的な学習」の充実・強化
- 「本校の課題 算数の基礎・基本」の定着実感的な理解（CRT、全国学力・学習状況調査の分析に基づく授業改善）

重点2 子どもの「絆を紡ぐ力」が育つ方策

- 「教師の共感力」「カウンセリングマインド」を高める
- 「聴き方（最後まで等）」を高める指導。（学習のやくそくを活用）
- 「学級・学校をより良くしようとする」特別活動の充実（学活、児童会等）
- 「Q-U」「アセス」と関連させた個人面談及び対応
- 「いじめの未然防止」「早期発見」「早期解決」を目指す取組
- 「道徳」の学びを実生活と関連させ、活かす取組
- 「心が動く体験的な活動・他者との学び（異学年、地域、異校種等）」の工夫（総合的な学習、生活科、行事の充実）
- 「特別支援教育」の充実（教育相談、SC、SSWの活用等）

重点3 子どもの「未来を紡ぐ力」が育つ方策

- 「総合的な学習の時間」の計画的な取り組みと見直し（カリキュラムマネジメント）
- 「学習のきまり」の重点と指導（メタ認知を高める指導）
- 「外部人材」の活用とリストの作成（人を活用した実践）
- 「近隣校の情報共有と連携」の促進（幼小中連携）
- 実生活や未来・将来と関連させた「キャリア教育」（目標、めあてを明確にしたキャリアファイル等の取組）

重点4 子どもの「命を紡ぐ力」が育つ方策

- 「体力向上」を図る体育授業と組織的な取組
- 「感染症・流行性感冒・熱中症」等への対策指導
- 「安全教育」（防災・防犯・交通・薬物）の指導
- 「食と健康の教育」養護教諭と栄養教諭の連携指導
- 「明るく自ら挨拶」につながる児童会活動と学級指導
- 「言葉のもつ力」に関する指導（プラス言葉・感謝等）
- 「生活リズムの確立とスマホ・ゲームとの付き合い方」
- 「丁寧な清掃・整理整頓」を大切にした学級経営

組織を紡ぐ方策

- 人材育成（初任者育成の方策をもつ）
- 学年団を中心とした協働体制構築
- 働き方改革と服務規律の徹底
- 情報共有体制の再構築（校務支援システム導入を見越して）

家庭と紡ぐ方策

- 各通信やホームページ、あんしんメール等による情報提供（情報は精査）
- 基本的な生活習慣・情報モラルについての連携
- 学校評価結果を改善に生かす

地域と紡ぐ方策

- 小中 JP を軸に、校区の幼稚園・保育園、高校や大学との連携（授業活用と人材育成）
- コミュニティスクールの推進と人材活用
- ボランティアを活用した学校活動の充実
- 教育局、市教委との連携